

## 研究報告書の作成にあたって

厚生省心身障害研究助成金「筋ジストロフィー症の病因の究明に関する研究」の研究班は、昭和52年3月（昭和51年度）をもって一応の終止符をうち、昭和52年度は、厚生省母子衛生課、日本筋ジストロフィー協会の御支援と御理解により多額の研究助成金をいただき、新しくプロジェクト方式を採用し、従来にない大規模な研究を、組織的に行ってまいりました。厚生省当局、協会に対しまして深い敬意を表したいと思えます。

本年も、不肖私が班長として研究班をお世話する事になりましたが、研究班の班会議において発表されました様に多くの優れた研究成果をあげる事が出来ました。そして、本年度も研究報告書の完成を得ました事は評価委員、班員各位の日頃の御努力のたまものと深い敬意を表す次第です。又、その研究成果がこの方面における一流の国際水準のものであることにかんがみ、我国の研究成果を広く海外に紹介し、学問的交流をたかめる事を目的として、英文の **Proceeding** を発刊の予定であります。

さて今回国立神経センターの開設に伴いこの研究班は、形式上は昭和52年度一年間で終了し、一つの区切りをつける事になります。しかし、筋ジストロフィー症の病因の究明と治療法の開発をめざし今後も研究を続けることは、社会的にも学問的にも我々に課せられた義務であります。この間、患児の尊い生命が失われた事に対し、深く哀悼の意を表しますと共に、今後も多方面からの研究を絶え間なく続けていくことが我々の責務と考える次第です。

昭和53年3月

〈班長〉 沖 中 重 雄

↓ **検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用 ↓  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります

研究報告書の作成にあたって

厚生省心身障害研究助成金「筋ジストロフィー症の病因の究明に関する研究」の研究班は、昭和52年3月(昭和51年度)をもって一応の終止符をうち、昭和52年度は、厚生省母子衛生課、日本筋ジストロフィー協会の御支援と御理解により多額の研究助成金をいただき、新しくプロジェクト方式を採用し、従来にない大規模な研究を、組織的に行ってまいりました。厚生省当局、協会に対しまして深い敬意を表したいと思います。